

小学校 高 学年＜ 5・6－（3）－1＞

学 年	5 年 6 年	時 間	学級活動 or 体育（保健） 「クイズで学ぶ応急手当」	時 期	7月または適時	時 数	1 時間（45分）
本時目標	応急手当の仕方を理解し、今後の生活に生かすことができる。						
資料・準備	各校のけがの実態を養護の先生が集計した資料、各学校の実態で編集し直した P P スライド資料（ いずれも、早めに養護の先生に授業実施のお願いとともに準備をお願いしておく。 ）						

この学級活動または体育(保健)は、養護の先生の直接指導または、養護と担任の T T 指導が適切と考える。

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 応急手当の仕方について学習することを ◇今まで、どんなけがをしたことがありますか。 ◇そのときどうしましたか。けがをしたとき、どのよ うな手当をしたらいいか考えてみましょう。	○日常生活をふり返り、自分が経験したことや 見たことがあるけがについて出し合うよう にする。
展 開	2 けがの正しい手当の仕方について考える。 ◇これまでにけがをして困ったことはありませんか。 ・鼻血が出て、止まらなくて困った。 ・妹と散歩に行き、妹が転んで泣いて困った。 ・足を打って痛くて歩けなくて困った。 ◇こんな時、今までどうしてましたか。(実態把握) (切り傷・すり傷) →①か②に挙手 (鼻血) →同様 ◇わたしたちの学校のけがベスト3クイズをします。 さて、けがベスト3は何でしょう？ (例) 1位 (すりきず) 2位 (だぼく) 3位 (ねんざ) ◇正しいけがの手当について考えていきましょう。 ◇応急手当クイズをします。 ①すりきずの手当ての仕方 ②鼻血の手当ての仕方 ③だぼくの手当ての仕方 ④つき指の手当ての仕方 ◇けがをしたときに大事なことは、どんなことですか。 予測する 落ち着く 決まりを守る	○手当の仕方を正しく知ることの必要性をお さえる。 ○自分が今までけがをして困った経験を想起 させる。 ○今までどうしていたか挙手把握(スライド) ○自校の実態から、けがに関心を持たせる。 ○それぞれのけがについて補足説明をする。 ○ P P スライドを提示しながら進める。 ○クイズ形式で答えさせ、けがに対する意識を 持たせたい。 ○事前に養護の先生に集計しておいてもら うようお願いしておく。 ○日常的に起こりやすいけがについて、クイズ で手当の方法を確認する。 ☆けがの的確な把握とその対応がわかる。 ☆簡単な手当のしかたがわかる ○血液の扱い(自分以外の人の血液には素手で ふれないこと)についても触れておく。 ○けがをしたときには、けがの種類や程度を速 やかに把握すること、近くのおとなに知らせ ることの大切さを理解させる。 ○防災につながる大事な態度としておさえる。
ま と め	3 今後の生活に生かしていくことを確認する。 ◇今日の学習でわかったことを発表しましょう。	○授業の初めに発表した、困ったことも今日の 学習で解決できることを確認する。

関連する 教科・領域等	
題材・指導案等	平成 23 年度鳥取型防災教育モデル校(大山西小学校)の H23・24 年度 3 年の救急クイズの 実践を参考に作成